



# 知っていますか？「結核」が現代の病気だってコト。

## 感染症発生動向速報

(令和元年第33週分・8月12日～8月18日)

### 《インフォメーション》

結核は過去の病気と思われがちですが、現在もなお、全国で毎年約2～3万件の報告があり、約2千人が亡くなっています。富山県内では、毎年約200件の報告があり、今年には既に120件の報告がありました(右上図)。なお、報告には発病していないが検査で感染が判明した「潜在性結核感染症」が含まれています。

年代別に見ると、結核患者の約6割が70歳以上の高齢者でした(右下図)。高齢者と接触する機会が多い医療従事者や介護関係者への感染事例も多く報告されています。また、20～30歳代では、外国生まれの方が多く、結核が蔓延している国で感染し、留学や就業のため来日後、発病したと思われる事例が増えています。結核の発見が遅れ、職場や寮での集団感染に発展する事例も報告されています。

結核は、結核菌を原因とする感染症です。肺に侵入して病巣を作ることが多く、患者の咳などに含まれる菌が飛び散り、周囲の人がそれを吸い込むことで感染します(空気感染)。感染しても通常は免疫により菌の増殖が抑えられるため、感染者の8～9割は発病することなく一生を過ごします。しかし、加齢などで免疫力が低下すると、菌の増殖を抑えられなくなり発病します。結核は早期発見、治療により治る病気です。しかし、発見が遅れて重症化すると、治療困難となり死亡する場合があります。**咳や痰が2週間以上続いたり、微熱や倦怠感が続く場合は医療機関を受診しましょう。**また、定期接種対象年齢(通常1歳に至るまで)の乳幼児には**結核ワクチン(BCG)**を受けさせましょう。

### 《全数報告の感染症》

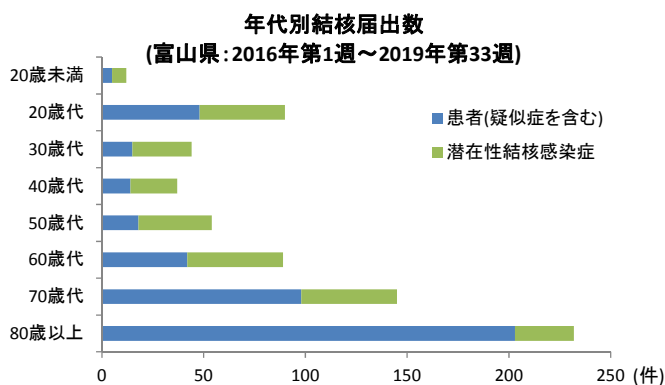
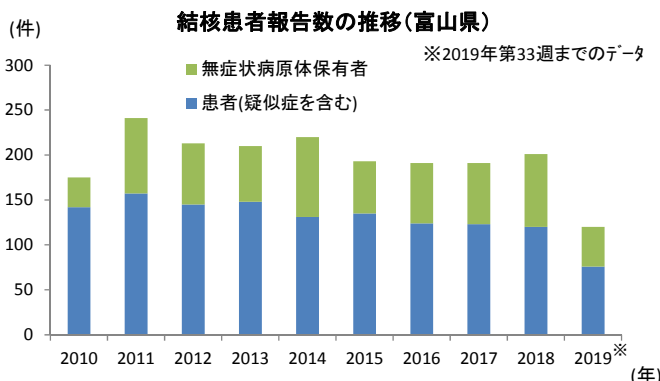
- 二類感染症 結核 3件(①10歳代 ②20歳代 ③80歳代 ①～③全て第32週診断分、男性)
- 四類感染症 E型肝炎 1件(70歳代、男性)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件(70歳代、女性)
- 百日咳 2件(①②共に10歳未満、男性)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	2.52(↓)	3.76
2位	手足口病	1.28(↓)	4.31
3位	RSウイルス感染症	1.00(↓)	1.55
4位	ヘルパンギーナ	0.79(↓)	1.24
5位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.48(↓)	0.83
	突発性発しん	0.48(↑)	0.38

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

令和元年8月21日  
富山県感染症情報センター  
(0766-56-5431 直通)  
(0766-56-8142 細菌部)  
(0766-56-8143 ウイルス部)



○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第33週 令和元年8月12日～令和元年8月18日）

分類	疾患	今週報告分（第33週）					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核							20	8	35	24	34	121	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	4	4	6	15	
四類感染症	E型肝炎	1				1	3		1				4	
	A型肝炎						1						1	
	つつが虫病						1						1	
	レジオネラ症						2		11	7	13	33		
五類感染症	アメーバ赤痢											3	3	
	ウイルス性肝炎								1				1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					1	1		3	1	2	6		
	急性弛緩性麻痺								1				1	
	急性脳炎											2	2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								2	3	6	11		
	後天性免疫不全症候群											5	5	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症								1	2	2	5		
	侵襲性肺炎球菌感染症								8	8	8	24		
	水痘（入院例）						1	2				5	8	
	梅毒								2	1		13	16	
	播種性クリプトコックス症											1	1	
	破傷風									1			1	
	百日咳			1	1		2	1	5	59	51	89	205	
	風しん								1			3	4	
	麻しん									1	2		3	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ		1				1	1,427	918	3,154	1,691	3,682	10,872
				0.20				0.02						
RSウイルス感染症			6	8	3	12	29	14	44	82	34	198	372	
			2.00	1.00	0.75	1.20	1.00							
咽頭結膜熱			2		1		4	151	21	224	50	179	625	
			0.50		0.13		0.14							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1		5		8	106	111	543	232	945	1,937	
			0.25		0.63		0.48							
感染性胃腸炎			14	7	15	2	35	73	955	750	1,187	459	2,862	6,213
			3.50	2.33	1.88	0.50	3.50	2.52						
水痘				1			1	19	15	44	11	227	316	
				0.33			0.03							
手足口病			16	3	10		8	37	158	213	1,012	263	1,117	2,763
			4.00	1.00	1.25		0.80	1.28						
伝染性紅斑					1		5	6	107	55	405	106	476	1,149
					0.13		0.50	0.21						
突発性発しん				1	3	2	8	14	24	30	153	34	132	373
				0.33	0.38	0.50	0.80	0.48						
ヘルパンギーナ			7	2	9	1	4	23	116	98	220	57	196	687
			1.75	0.67	1.13	0.25	0.40	0.79						
流行性耳下腺炎								2	7	8	1	20	38	
急性出血性結膜炎											12		12	
流行性角結膜炎								1	9	27	28	7	72	
細菌性髄膜炎												4	4	
無菌性髄膜炎								2				1	3	
マイコプラズマ肺炎			1				1		4	2			6	
			1.00				0.20							
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1		8	7	2	18	
インフルエンザによる入院患者（*）								42	42	52	98	101	335	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。